

スカパーJSATグループ
2013年度 通期決算説明会

2014年5月9日(金)

株式会社スカパーJSATホールディングス

将来の見通しに関する記述について

本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

《経営全般に関するリスク》

- 当社グループの事業に係わる法的規制等による事業の制約のリスク
- 顧客情報のセキュリティに関するリスク
- 大規模災害による重大設備障害に関するリスク

《衛星インフラに関するリスク》

- 通信衛星の機能不全や運用能力低下に関するリスク
- 通信衛星調達に関するリスク
- 衛星への保険付保に関するリスク

《有料多チャンネル放送プラットフォームサービスに関するリスク》

- 加入者獲得、維持に関するリスク
- 放送事業者に関するリスク
- ICカードのセキュリティ等に関するリスク

通期連結決算概要

損益概要

- 対前年度比、増収・増益。営業利益は34.4%増益を達成。

(単位:百万円)

	FY2012 通期累計	FY2013 通期累計	増減率
営業収益	159,609	171,683	7.6%
営業利益	16,153	21,713	34.4%
経常利益	15,698	21,529	37.1%
当期純利益	9,682	9,659	△0.2%
EBITDA (*1)	42,448	43,673	2.9%

*1. EBITDA = 当期純利益 + 税金費用 + 支払利息 + 減価償却費

損益概要： 前年度実績対比／セグメント別

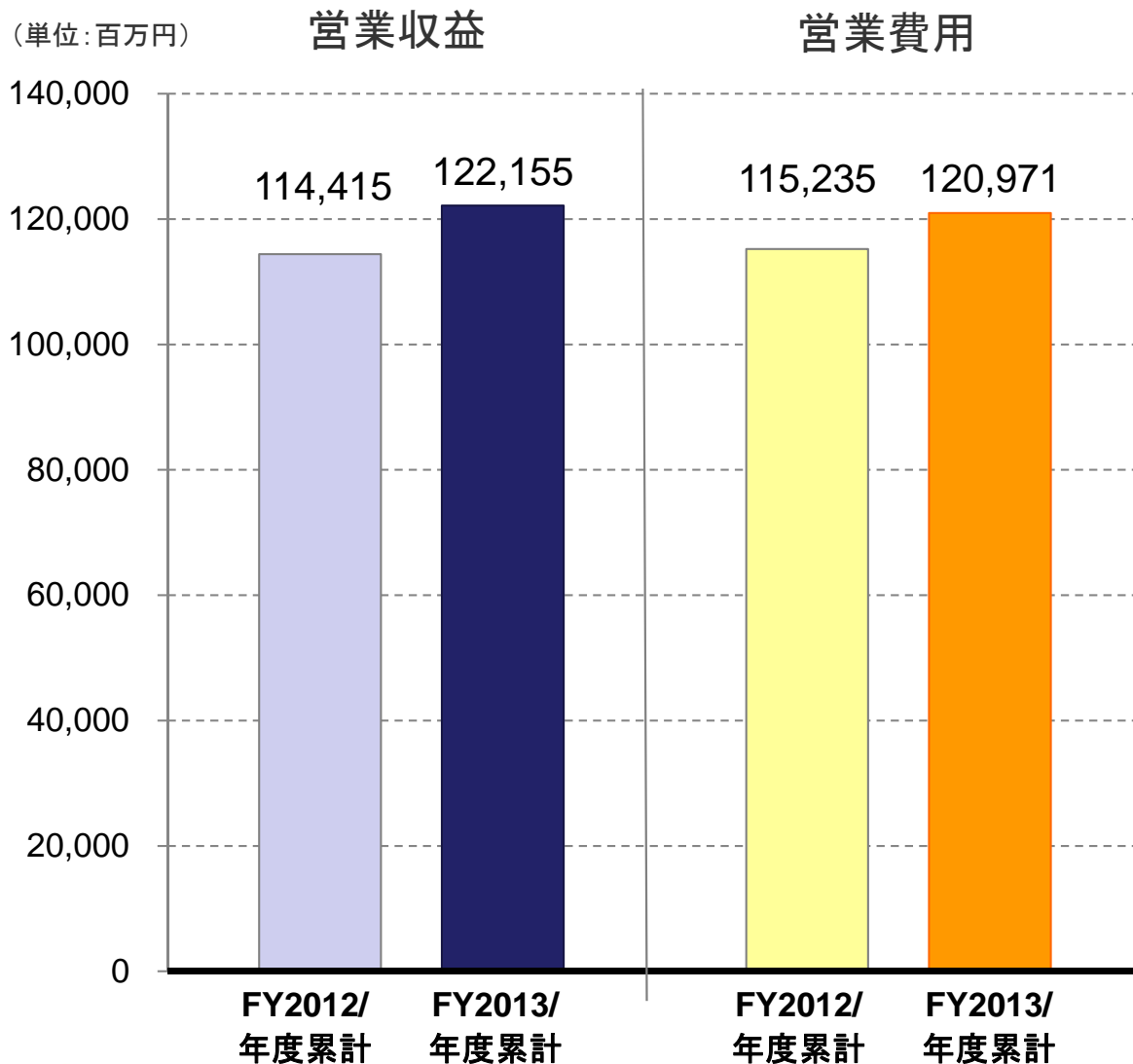
- 有料多チャンネル事業：加入目標は未達に終わったが、計画を上回るHD移行、ARPU向上により前年度を上回り黒字を達成。
- 宇宙・衛星事業：収益・利益とも前年度を大幅に上回る。

(単位：百万円)

	FY2012 実績	FY2013 実績
営業収益	159,609	171,683
有料多チャンネル事業	114,415	122,155
宇宙・衛星事業	56,645	62,586
消去又は全社	▲11,452	▲13,059
営業利益	16,153	21,713
有料多チャンネル事業	▲819	1,184
宇宙・衛星事業	17,598	21,083
消去又は全社	▲626	▲554

有料多チャンネル事業の業績概況：前年度比較

有料多チャンネル事業



営業収益(+77億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

- ハイビジョンサービス視聴料収入の増加：+140億円
- 業務手数料収入の減少等：▲55億円
 - スカパー！（旧e2サービス）手数料収入等：+8億円
 - 標準画質サービスに係わる手数料収入等：▲63億円
- 送信料収入の減少：▲5億円

営業費用(+57億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

- 番組供給料の増加：+75億円
- 業務委託費等の減少：▲19億円

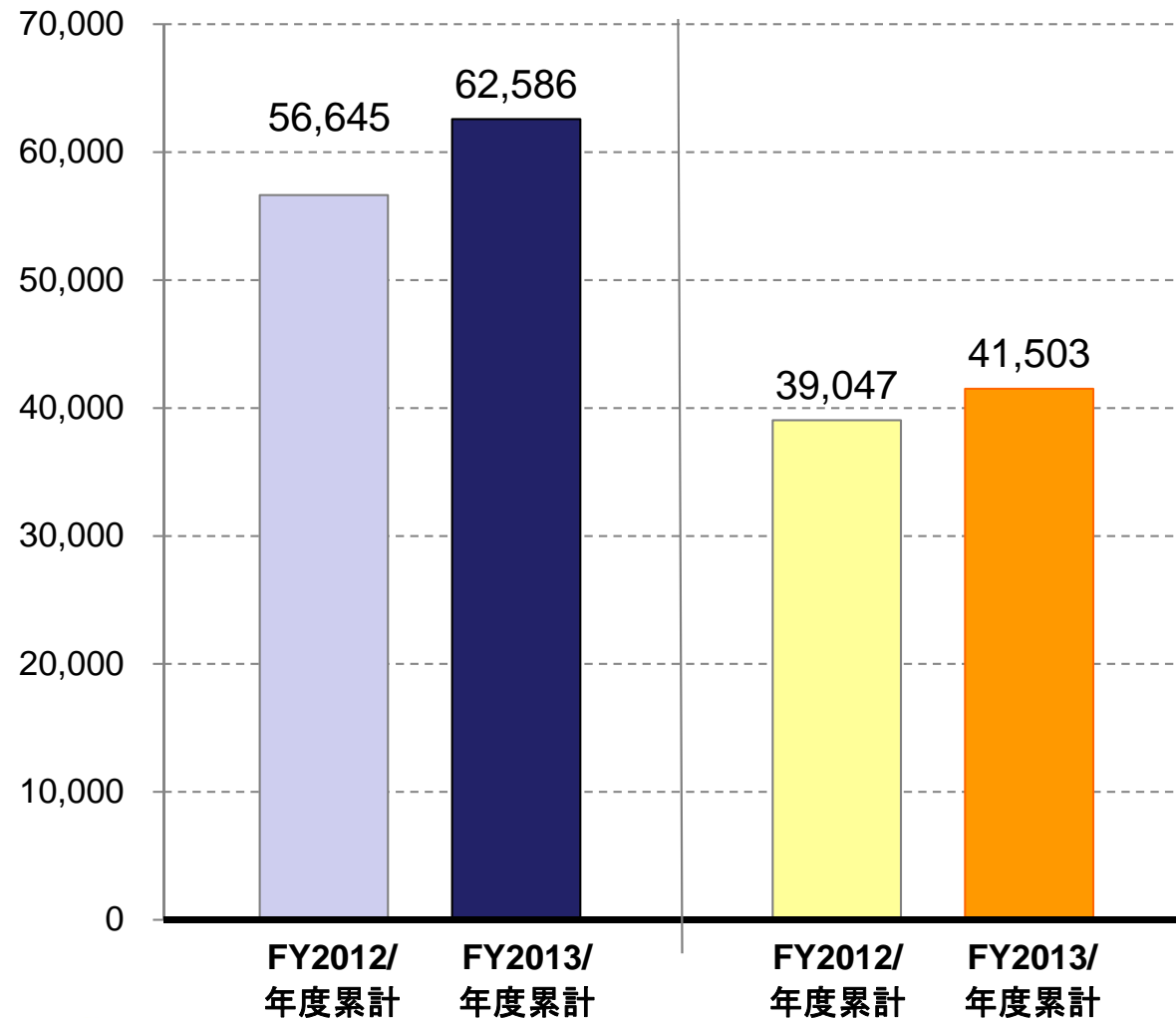
宇宙・衛星事業の業績概況：前年度比較

宇宙・衛星事業

(単位：百万円)

営業収益

営業費用



営業収益(+59億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

- 官公庁のシステム更新受注：+57億円
- 国際サービス収入の増加：+15億円
- 標準画質向け放送トラポン収入の減少：▲20億円

営業費用(+24億円)*

<主な増減要因>

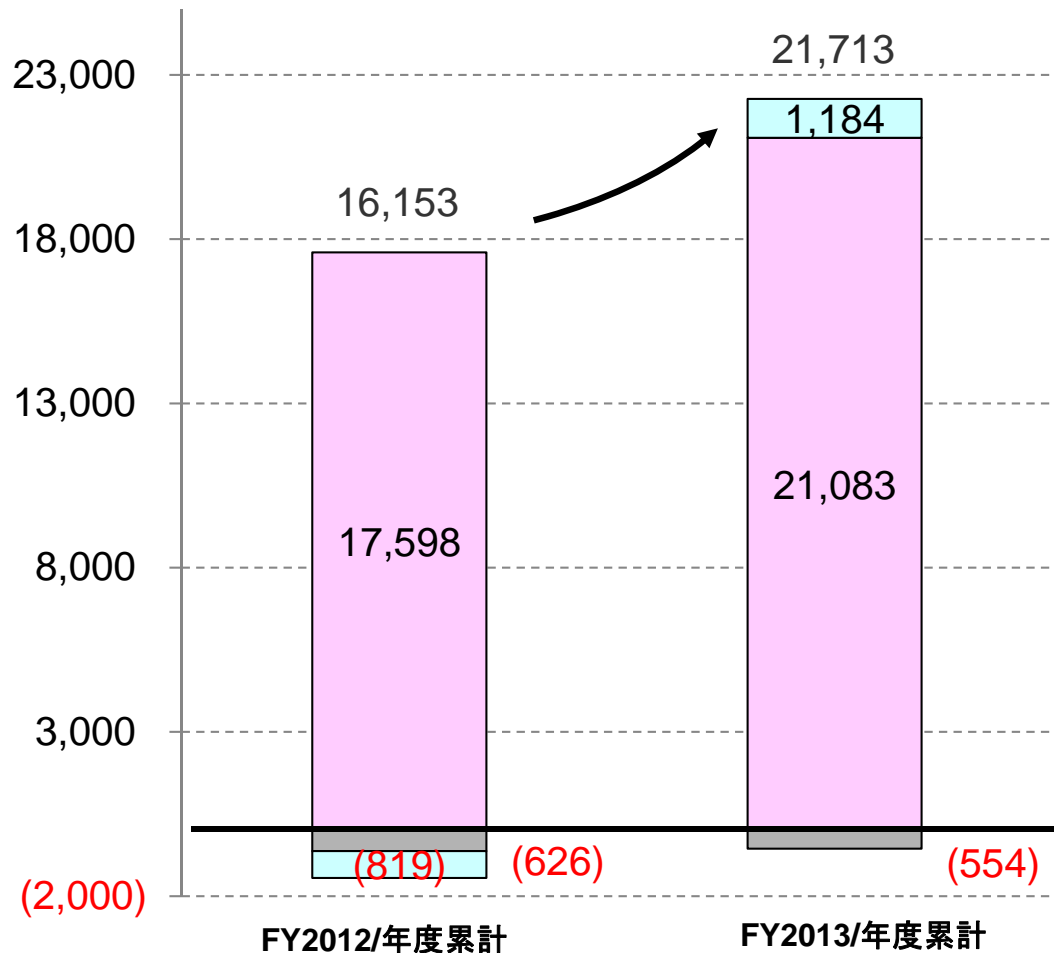
* セグメント間内部取引を含む。

- 衛星事業原価等の増加：+46億円
- 衛星減価償却費の減少：▲21億円

利益指標

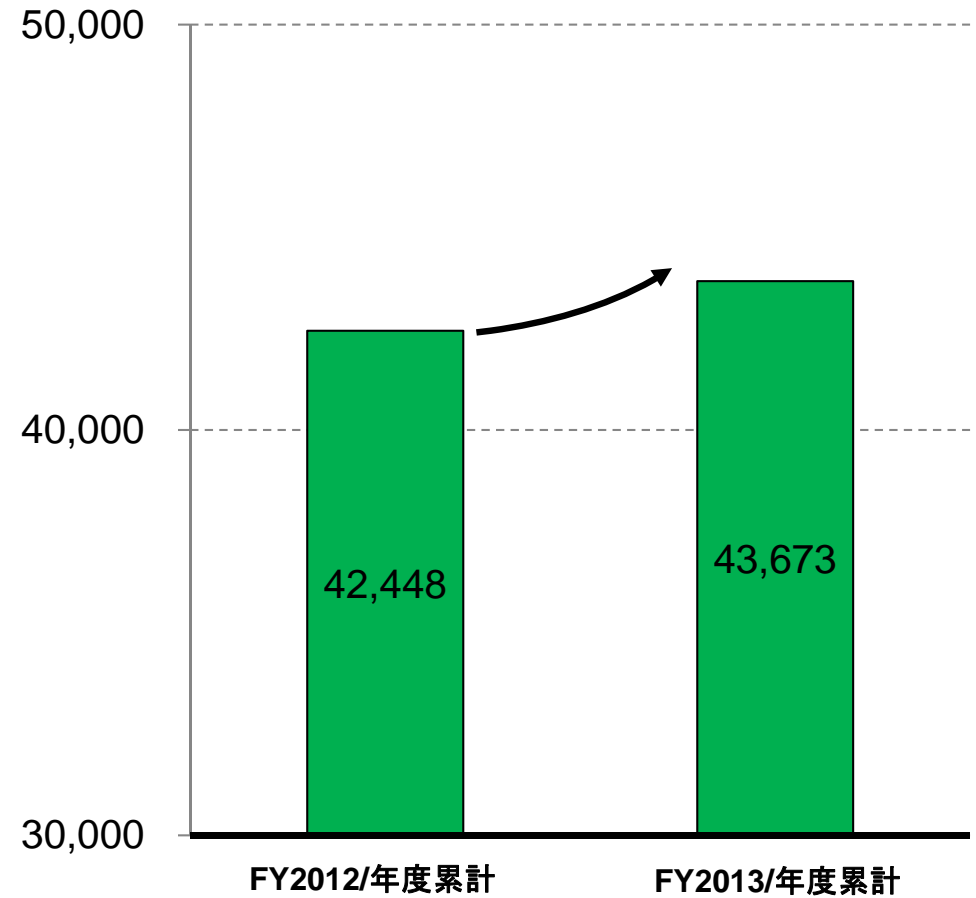
営業利益

(単位:百万円)



EBITDA

(単位:百万円)



有料多チャンネル事業 宇宙・衛星事業 消去又は全社

今後の取り組み
～有料多チャンネル事業～

有料多チャンネル事業の主要指標(*)

	FY2012 通期 累計	FY2013 通期 累計	FY2013 通期目標
新規加入件数(万件)	62.2	48.0	64.0
純増数(万件)	1.5	-11.3	3.6
累計加入件数(万件)	382.9	371.7	386.5
HD移行件数(万件)	40.6	28.7	24.6
加入者月額支払単価(¥)	3,200	3,179	-
ARPU(¥)	1,784	2,004	-
SAC 単価(¥)	29,931	36,007	-

*スカパー！、スカパー！プレミアムサービス、スカパー！プレミアムサービス光の合計値

「2014年度は変革の年」

コストの構造変革

- ▶ コンテンツの強化
- ▶ 顧客サービスの強化

ビッグデータの活用によるサービスの向上

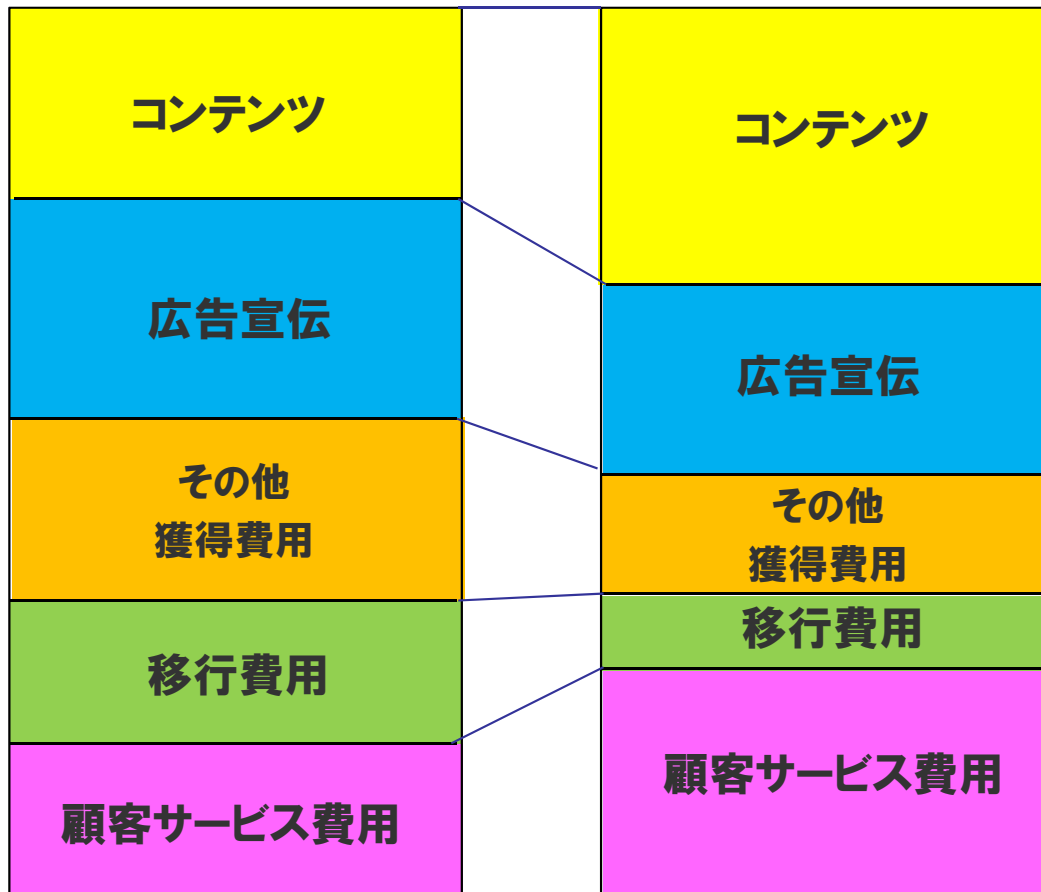
- ▶ 新顧客管理システムの導入
- ▶ 視聴動向調査の開始

スカパー！オンデマンドを主要サービスへ

コンテンツ・顧客サービスへの費用配分を強化

2013年度

2014年度



コンテンツへの費用重点投入

広告宣伝の効率化

セールスルート見直し等による費用削減

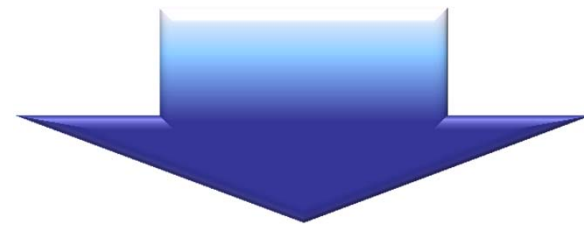
H.264移行関連費用の剥落

顧客サービスへの費用積極的投入

ビッグデータの活用によるサービスの向上

新顧客管理
システムの導入

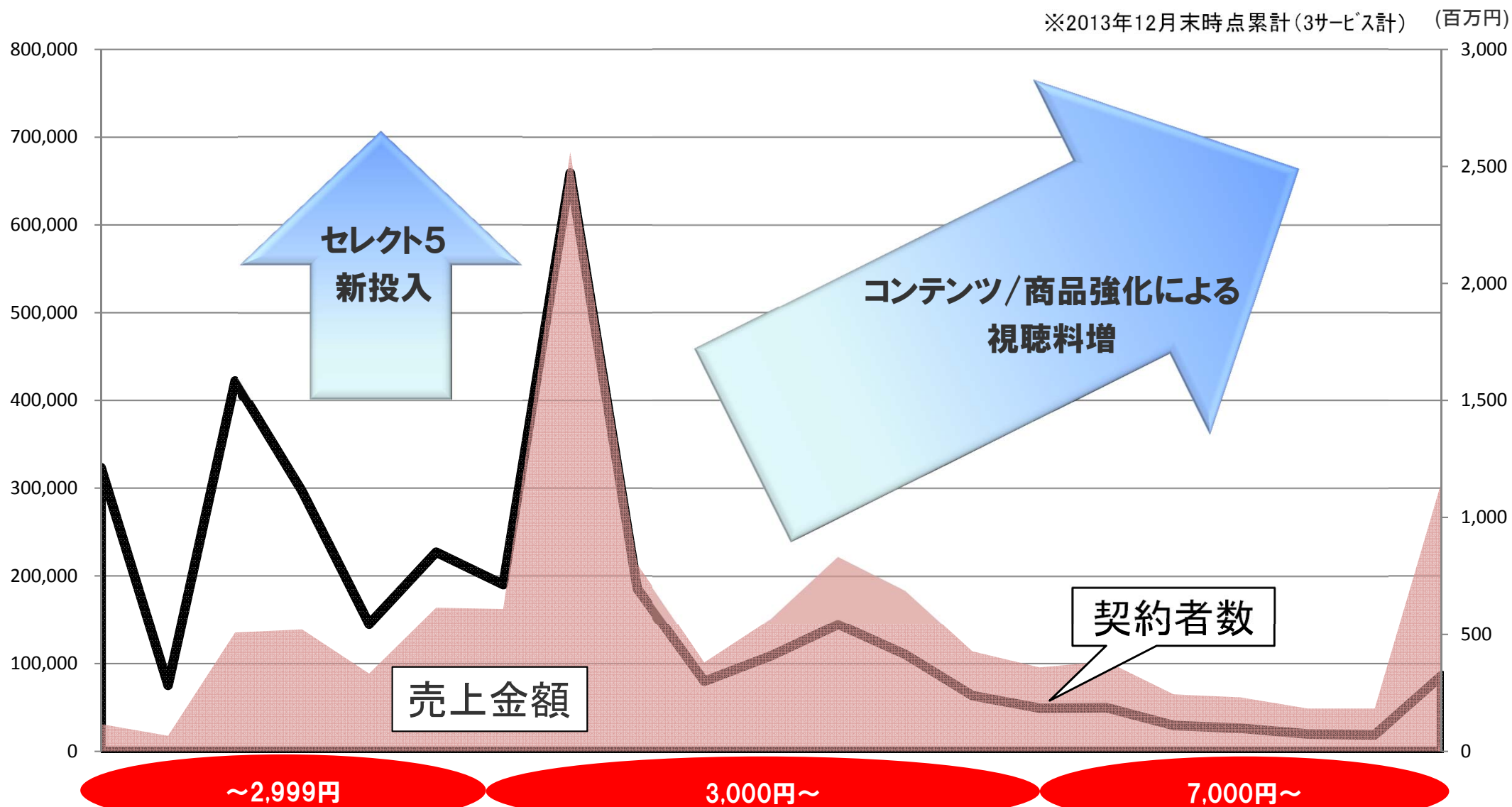
視聴動向調査
の開始



ビッグデータを活用し、
一人ひとりのお客様と向き合うサービスを提供

総視聴料収入増加のための施策

より多く、長く楽しんでいただくためのサービスを提供



スカパー！オンデマンドサービスを主要サービスへ

- Jリーグオンデマンドをはじめ様々なコンテンツで新しいユーザ層を獲得
- 他プラットフォームとの連携やマルチデバイス展開によりオンデマンドサービスを拡販

ココロ動く、未来へ。
スカパー！



他プラットフォームとの連携



J.COTT「cottio-Box」



NTT西日本「光BOX+」



マルチデバイス展開



2014年度加入目標

14年度加入目標	ICカード数 (従来加入件数)	契約者数*
2013年度末累計契約者数(加入件数)	371.7万件	332.7万件
新規合計	56.9万件	43.1万件
スカパー!	(47.8万件)	-
スカパー!プレミアムサービス	(7.4万件)	-
スカパー!プレミアムサービス光	(1.7万件)	-
MPEG2終了による強制解除件数(見込)	26.5万件	24.4万件
解約率	23.7%	21.2%
純増数	▲16.0万件	▲14.8万件
(MPEG2終了による強制解除を除いた純増数)	(+10.5万件)	(+9.6万件)
2014年度末累計契約者数(加入件数)	355.7万件	317.9万件

*契約者数・・・ご契約者単位の加入者数。同一契約者による複数のサービス契約も1契約としています。

いよいよ4K放送の実現へ

■ 2014年6月 NexTV-Fが4Kチャンネル開局へ

《4K試験放送概要》

- 開局日：6月2日(月) ※ JCSAT-3A(東経128°)衛星を利用して放送開始
- 放送主体：(社)次世代放送推進フォーラム(NexTV-F)

2014年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
NexTV-F 4Kチャンネル			★ ■試験放送開始	→			★ ■試験放送時間の拡大	→				

■ スカパー！プレミアムサービス光による4K展開を検討中

■ 総務省主催「4K／8Kフォローアップ会合」が開始 (2020年にむけたロードマップの具体化)

WAKUWAKU JAPAN事業の積極展開

■ WAKUWAKU JAPANインドネシアで好発進

- ビデオリサーチ社と共同で視聴状況調査実施(3/10~23)
 - ・特に「Jリーグ」「ウルトラマンコスモス」「あまちゃん」の人気大
- 同国のその他複数プラットフォームでの放送を準備中

■ ミャンマー「4TV」にて放送開始

- 「4TV」 : 大手メディア『Forever Group』の地上波有料放送サービス
- (6/1)放送開始決定

■ インドネシア人気番組「MNC International」日本初放送

- (4/26)スカパー！プレミアムサービスで放送開始

■ クールジャパン機構と基本合意

- (4月)東南アジアにおけるメディア事業等について共同での具体化検討開始

WakuWaku
JAPAN



ULTRAMAN COSMOS
©2001 TSUBURAYA PRODUCTIONS



Ch.515

V-High放送でのチャンネル認定

■ 4月9日、 V-High放送にて、以下のチャンネルが認定

- 放送事業者: (株)スカパー・エンターテイメント
- チャンネル名: 「スカパー !モバイルTV(仮)」
- 放送開始: 2015年4月1日(予定)
- 放送内容: サッカー中継を中心とした編成を予定
- 料金体系・販売方法: 未定

- その他の認定チャンネル

- アニマックス
- AXN
- フジテレビONE スポーツ・バラエティ
- フジテレビTWO ドラマ・アニメ
- 時代劇専門チャンネル



4/17 新藤総務大臣よりV-high放送認定証を授与

- B-CASカードの不正改造や改ざん事案の
摘発状況、訴訟状況について

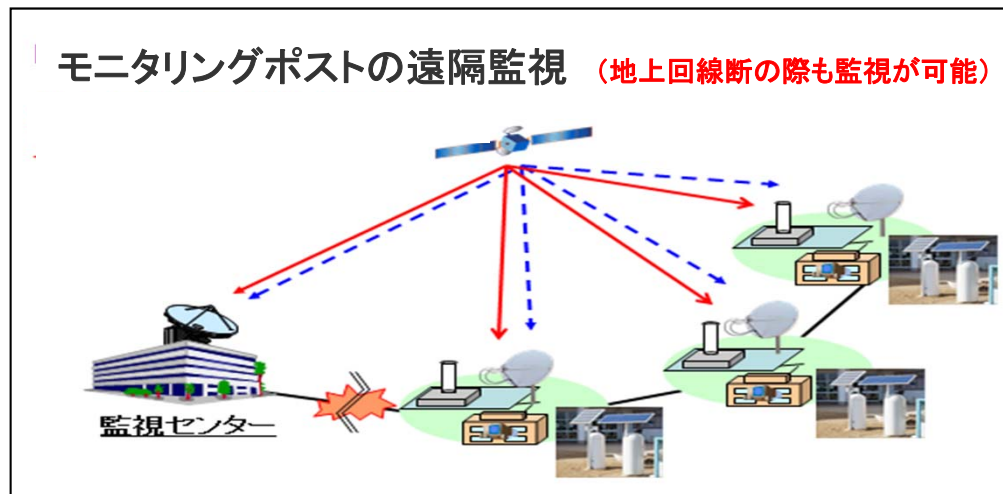
今後の取り組み
～宇宙・衛星事業～

■ ExBirdサービスの拡大



▶ 原子力防災関連

- ・地方自治体で放射線監視(モニタリングポスト)用のデータ伝送回線としての利用が増加
(トータルで現在6県約100局で利用中)



▶ BCP需要への対応

- ・ガス会社でのパイプライン監視用の利用が拡大
- ・首都圏直下型地震及び東南海地震想定地域におけるBCP利用に対応した営業を強化

■ 宇宙ビジネス

- ▶ JAXA保有の超高速インターネット衛星「きずな」(WINDS)の利用促進業務と運用業務の継続と共に、新たな衛星運用受託に向けた取り組みを強化
- ▶ 宇宙状況監視及び海洋監視事業の可能性の検討
 - 宇宙ゴミが増加していることから、人工衛星の安全性確保のための国際的な監視
 - 北極海域など、衛星から取得した画像等の各種データを用いた海洋監視



低軌道の宇宙ゴミ(イメージ図)

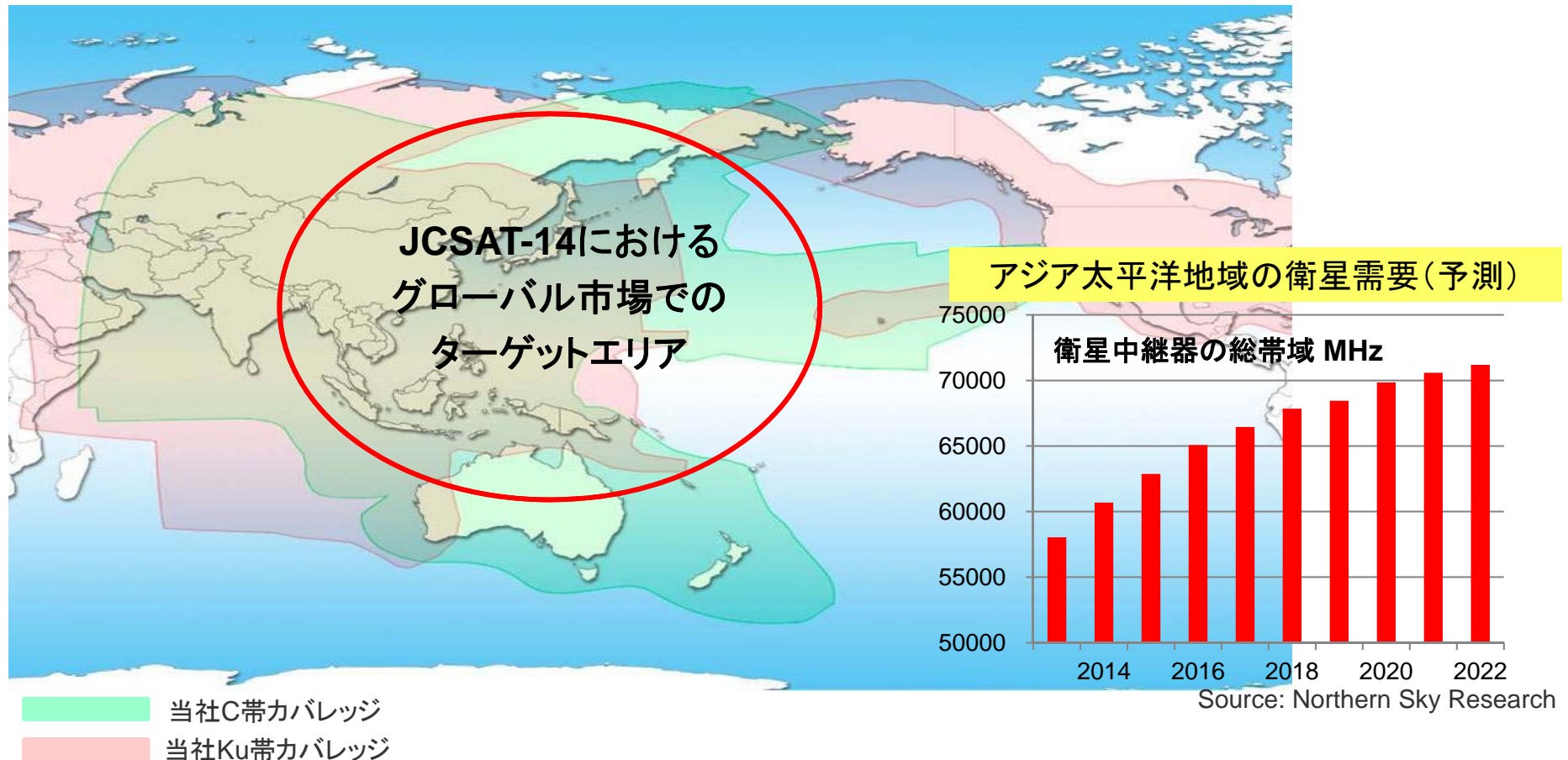
■ 防衛ビジネス

- ▶ 当社コンソーシアムが受注した、防衛省向けPFI事業:「Xバンド衛星通信中継機能等の整備・運用事業」を円滑に実施
(1号機:2015年12月打上げ予定、2号機:2017年1月打上げ予定)

グローバル市場への取り組み(1)

■ 衛星回線販売の拡大

- ▶ 成長が期待されるアジア・オセアニア地域のC/Kuバンド市場を重点的に開拓
- ▶ 北米及びロシアでの営業展開を強化
- ▶ 2015年度上期打ち上げのJCSAT-14(JCSAT-2A後継機)のプレ営業の展開



グローバル市場への取り組み(2)

■ オールジャパン体制での取り組み

- ▶ わが国の『衛星防災通信システム』を、トルコ共和国及びチリ共和国向けに、オールジャパン体制で、パッケージ型インフラとして輸出する取り組みを強化

【トルコ共和国】



- ・首相府緊急事態管理庁(AFAD)が、災害対策用の衛星通信ネットワークの構築を計画
- ・AFAD長官が4月に来日。EsBirdシステムを見学

【チリ共和国】



- ・5月末に、現地にて新政権向けに、日本コンソーシアムのプレゼンテーションを実施予定

〔トルコ共和国向けネットワーク(イメージ)〕



〔日本コンソーシアム(7社)〕



■ 航空機向け事業

- スマホの急速な普及などを背景に、航空機内インターネットサービスが急成長
- 3月 航空機向けインマルサット衛星通信サービスの日本国内向けサービス開始
 - ・全日本空輸(株)[ANA]の機内でWi-Fiサービス提供
- 1月 米国Panasonic Avionics(株)向け衛星回線の利用が拡大
 - ・日本航空(株)[JAL]等の機内でWi-Fiサービス提供

■ 船舶向け事業



- 「OceanBB」サービス(船舶向けインターネット接続サービス)を拡大
 - ・2013年度は、契約隻数が95隻から160隻に拡大
(日本郵船、商船三井、川崎汽船の3大商船会社が利用中)



SeaJapanに出展
(4月 東京)

■ JCSAT-15及びJCSAT-16の調達契約を締結

- ▶ 4月に、Space Systems/Loral社と2機の衛星調達契約を締結

【主な利用目的】

- ・JCSAT-15: N-SAT-110後継機として、スカパー！サービスに利用
- ・JCSAT-16: より安定した衛星サービス提供のため、Kuバンド及びKaバンドの日本ビームを搭載し、軌道上予備衛星として利用



JCSAT-15およびJCSAT16衛星(イメージ)

今後の衛星打ち上げ計画

- | | |
|-------------------------------------|--------------|
| ・JCSAT-14(JCSAT-2A(154E)後継機) | 2015年度上期(予定) |
| ・Superbird-8(Superbird-B2(162E)後継機) | 2015年度下期(予定) |
| ・JCSAT-15(N-SAT-110(110E)後継機) | 2016年度上期(予定) |
| ・JCSAT-16(軌道上予備衛星) | 2016年度上期(予定) |

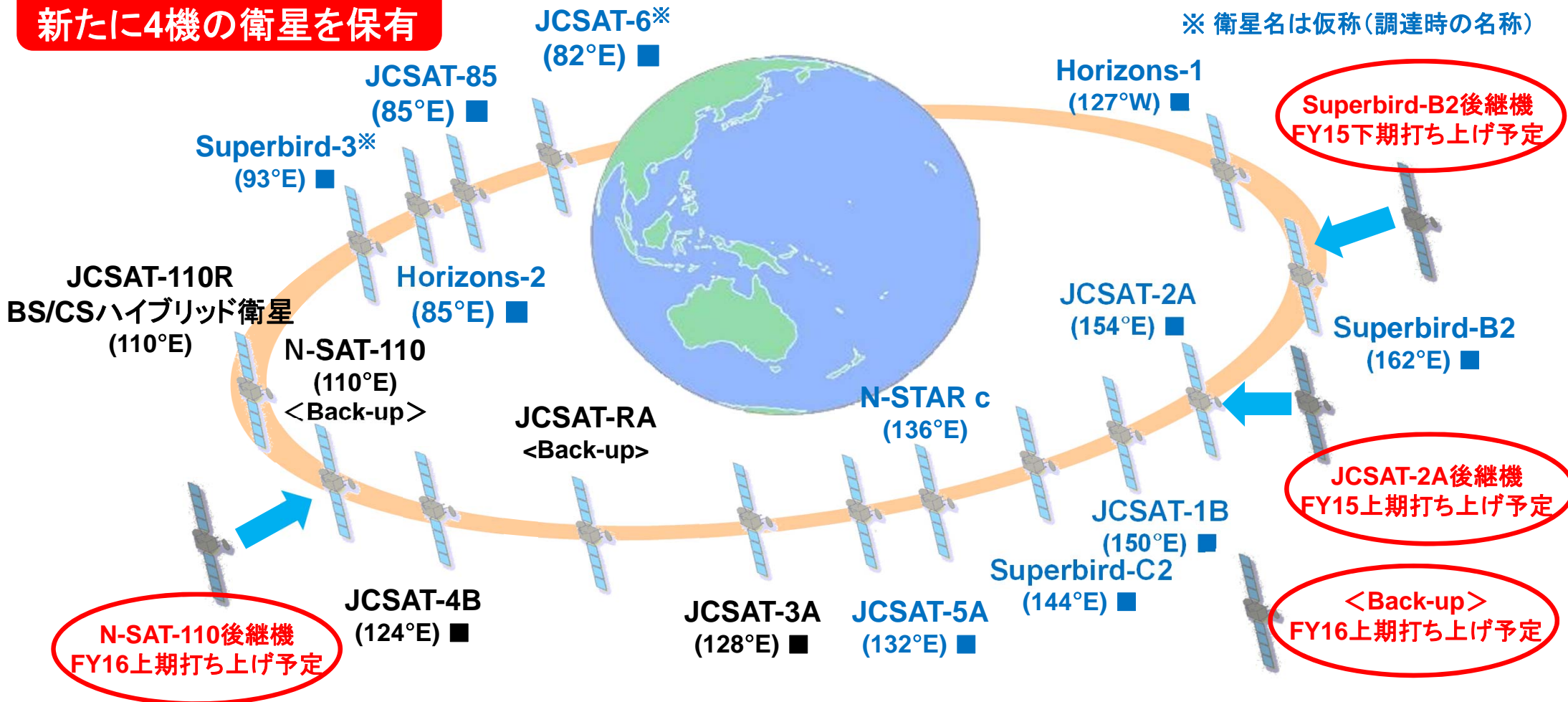


Space Systems/Loral社 John Celli(CEO)が来日

北米上空からインド洋上空まで計16機の衛星を保有

2016年度上期までに、
新たに4機の衛星を保有

■ グローバルビーム搭載衛星(含む可動ビーム)
※ 衛星名は仮称(調達時の名称)



(注) 衛星名(黒字):主に放送サービス用
衛星名(青字):主に通信サービス用

2014年度連結業績予想

2014年度連結業績予想

(単位:百万円)

	FY2013 通期実績	FY2014 通期予想	増減率
営業収益	171,683	163,500	△4.8%
営業利益	21,713	18,000	△17.1%
経常利益	21,529	17,500	△18.7%
当期純利益	9,659	12,000	24.2%

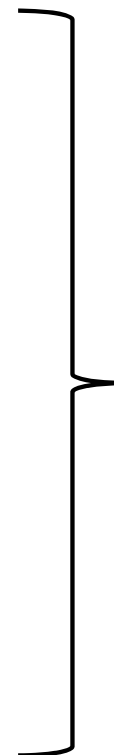
2014年度セグメント別業績予想

連結(単位:百万円)

	2014年度(通期予想)			連結合計
	有料多チャンネル事業	宇宙・衛星事業	消去又は全社	
営業収益	122,200	53,200	▲11,900	163,500
営業費用	121,000	35,700	▲11,200	145,500
営業利益	1,200	17,500	▲700	18,000

2014年度対前年比増減要因

- ・標準画質向け放送トラポン収入の減少
- ・HD移行費用の剥落
- ・放送センター統合によるコスト削減
- ・基本料収入の減少
- ・(2013年度)官公庁案件の一時的利益増



2014年5月末
MPEG2放送終了に
よる特殊要因

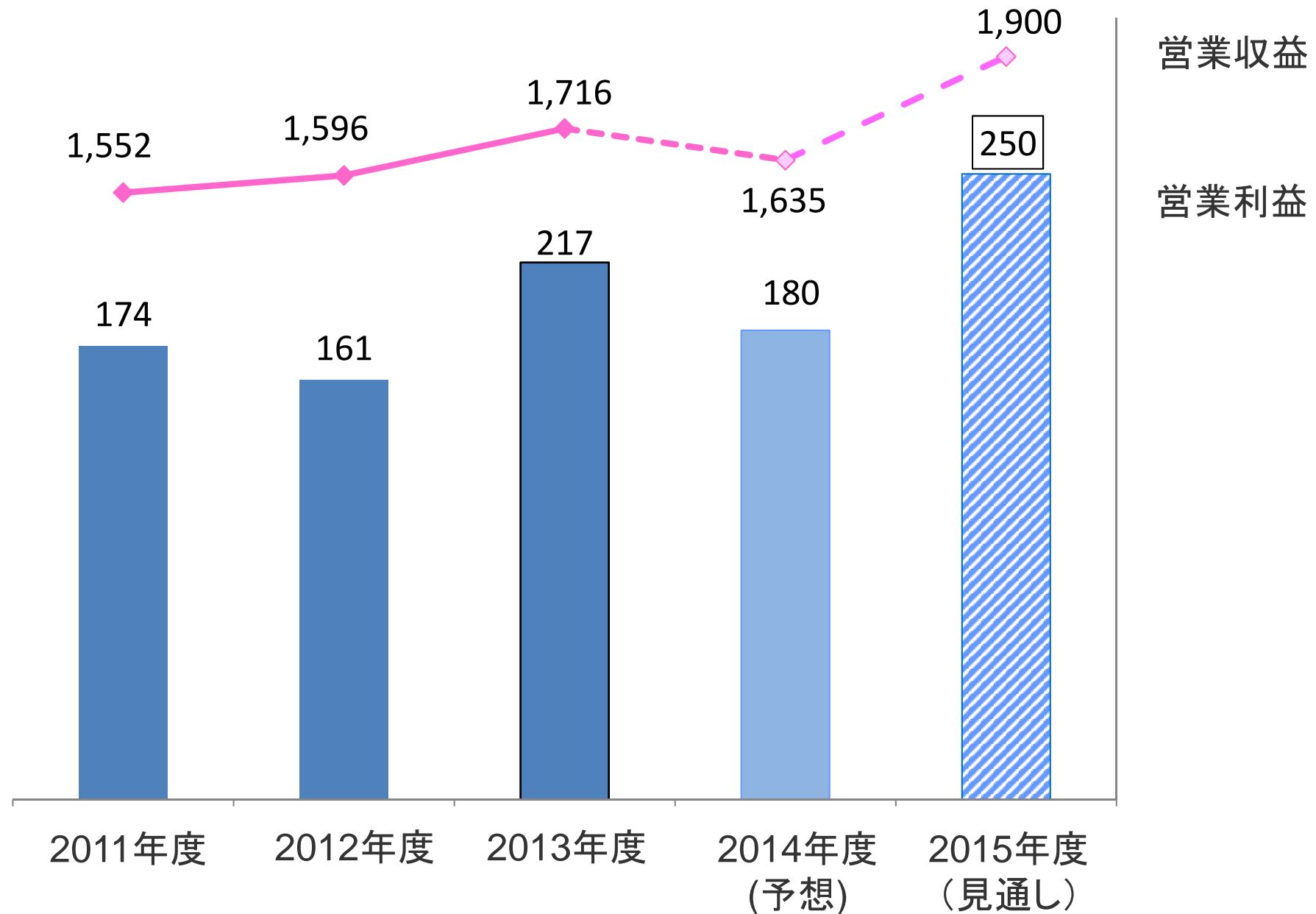
中期経営計画達成に向けて

2015年度中計目標達成に向けて

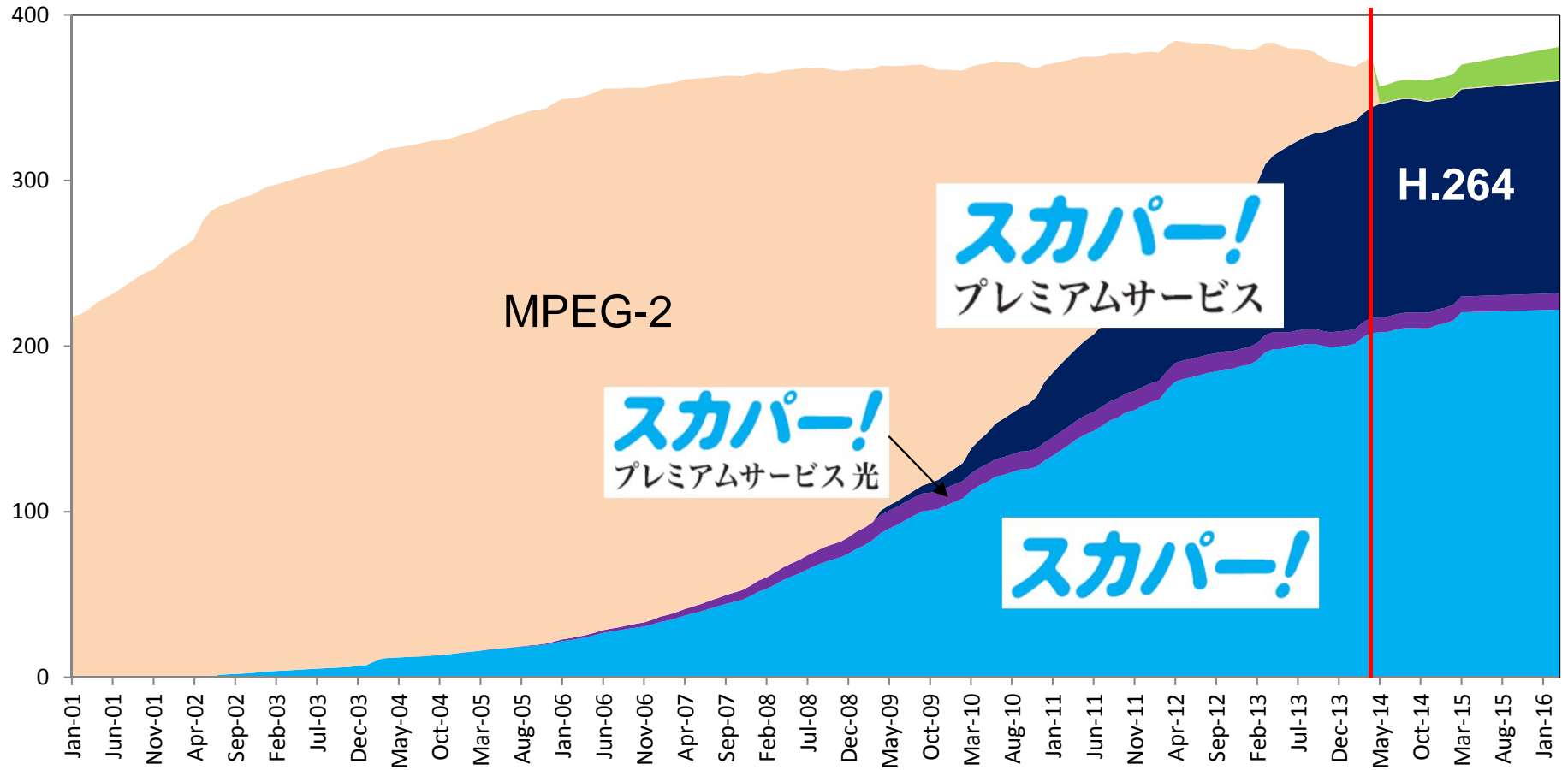
2015年度中計目標	見通しにおける主要要素
<p>連結営業収益 2,000 億円</p> <p>連結営業利益 200 億円</p>	<p>⇒ 連結営業収益1,900億円程度</p> <p>⇒ 連結営業利益250億円を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> • 次期Xバンド事業に係る収益増加 • グローバル展開を含む事業領域拡大 • SACの低減及びカスタマーセンターの構造改革 • HD移行完了による移行費用の剥落 • SD(MPEG-2)終了に伴う運用費用削減
<p>累計加入件数 400 万件超*</p>	<p>⇒ 400万件は未達。オンデマンド含め380万件* (スカパー！オンデマンド有料ユーザー数:20万件)</p> <ul style="list-style-type: none"> • スカパー！:純増基調を維持 • プレミアムサービス:加入者基盤を維持 • スカパー！オンデマンド:有料契約者数の伸張

連結業績推移と見通し(2011年度～2015年度)

(単位:億円)



加入実績と今後の見通し



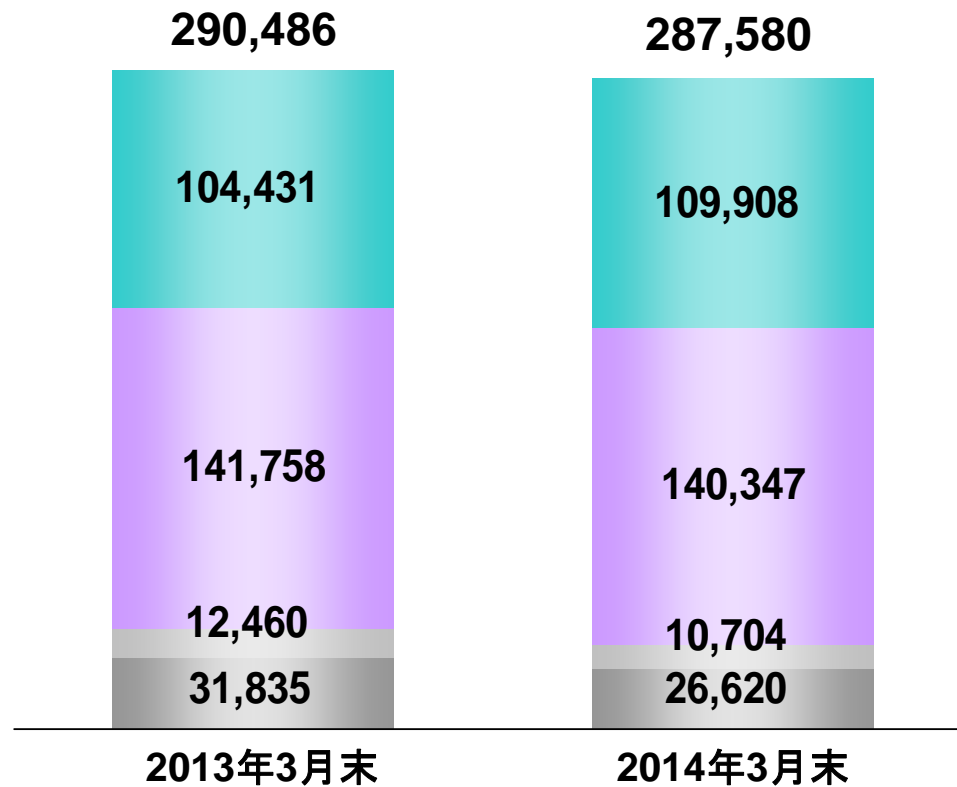
	FY2013実績	FY2014予想	FY2015予想
累計加入件数 (ICカードベース)	372万件	356万件	380万件 (含むVOD)
(契約者数)	(333万件)	(318万件)	-

(参考資料)

連結貸借対照表

資産

(単位:百万円)

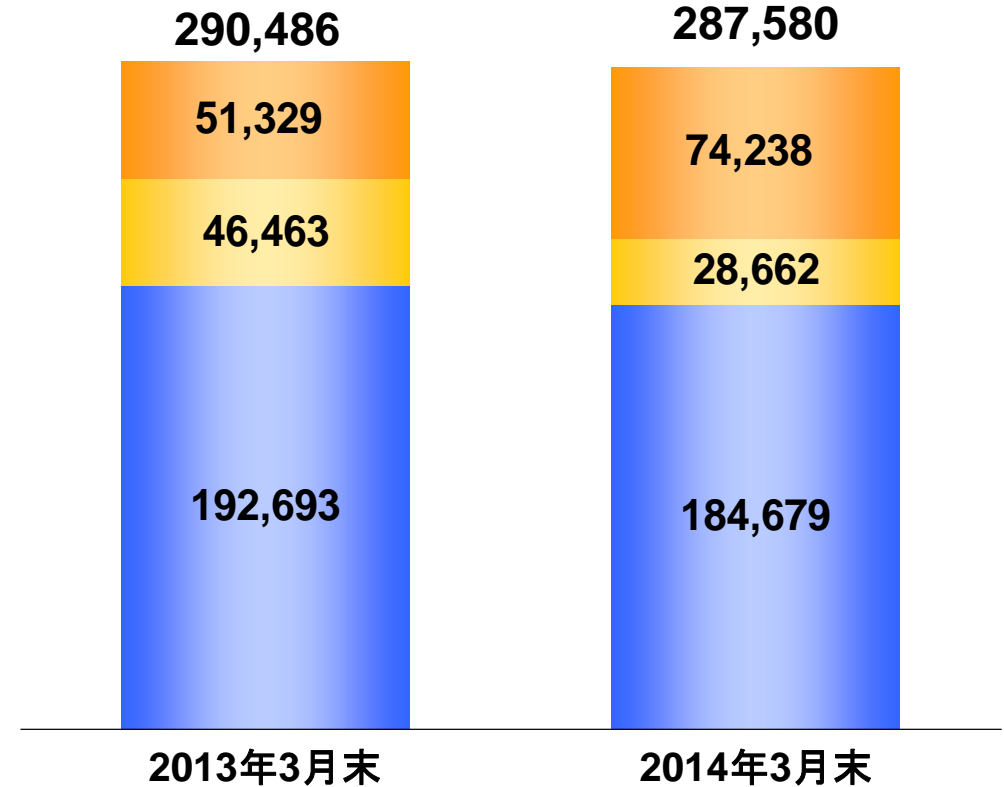


負債・純資産

(単位:百万円)

自己資本比率:66.2%

自己資本比率:64.1%



■ 流動資産
 ■ 有形固定資産
 ■ 無形固定資産
 ■ 投資その他資産
 ■ 流動負債
 ■ 固定負債
 ■ 純資産

連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

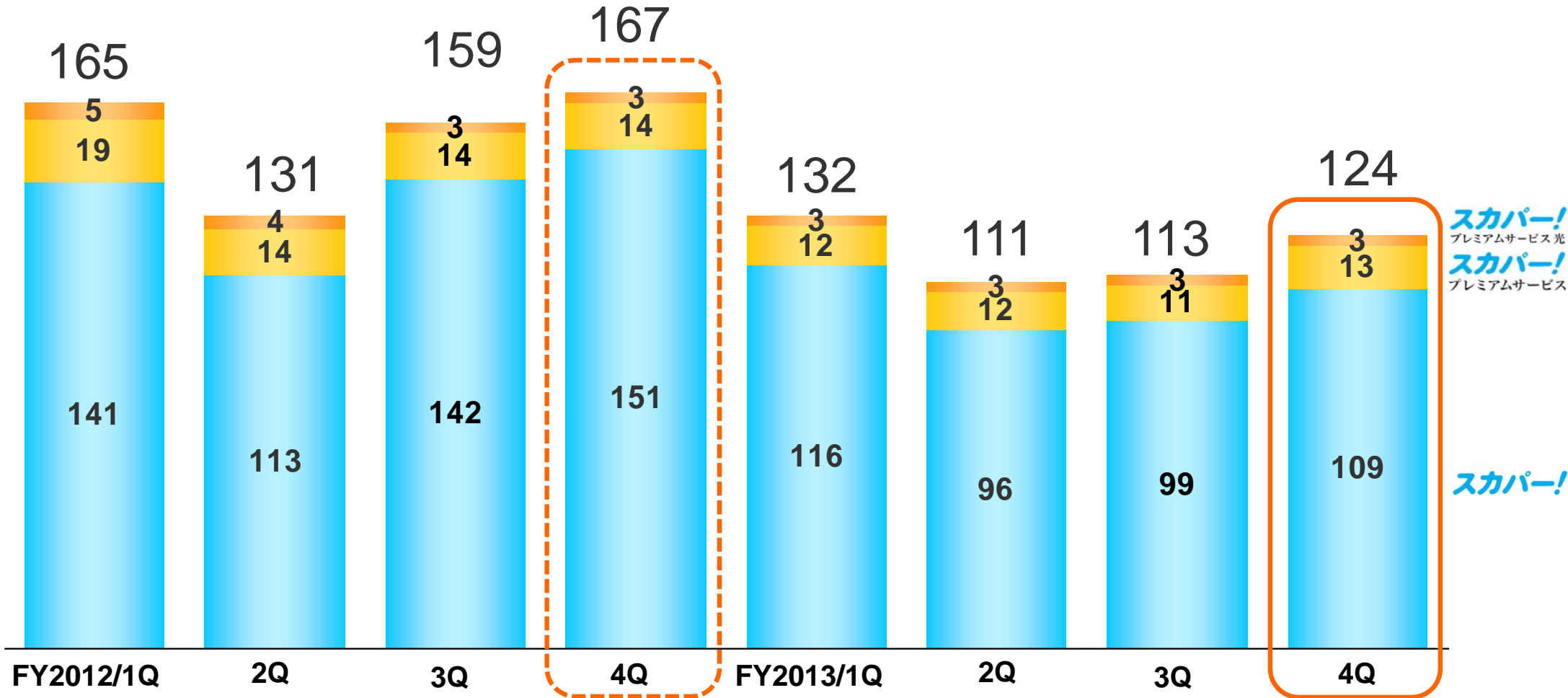
	FY2012/4Q 累計	FY2013/4Q 累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	38,372	33,345
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,119	△18,969
フリー・キャッシュフロー (*1)	27,252	14,375
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,401	△25,444
現金及び現金同等物の期末残高(a)	74,472	63,783
有利子負債期末残高 (*2) (b)	49,398	45,994
純有利子負債期末残高 (b)－(a)	△25,074	△17,789

*1. 営業活動によるキャッシュフロー＋投資活動によるキャッシュフロー

*2. 借入金＋無担保社債

新規加入件数の推移

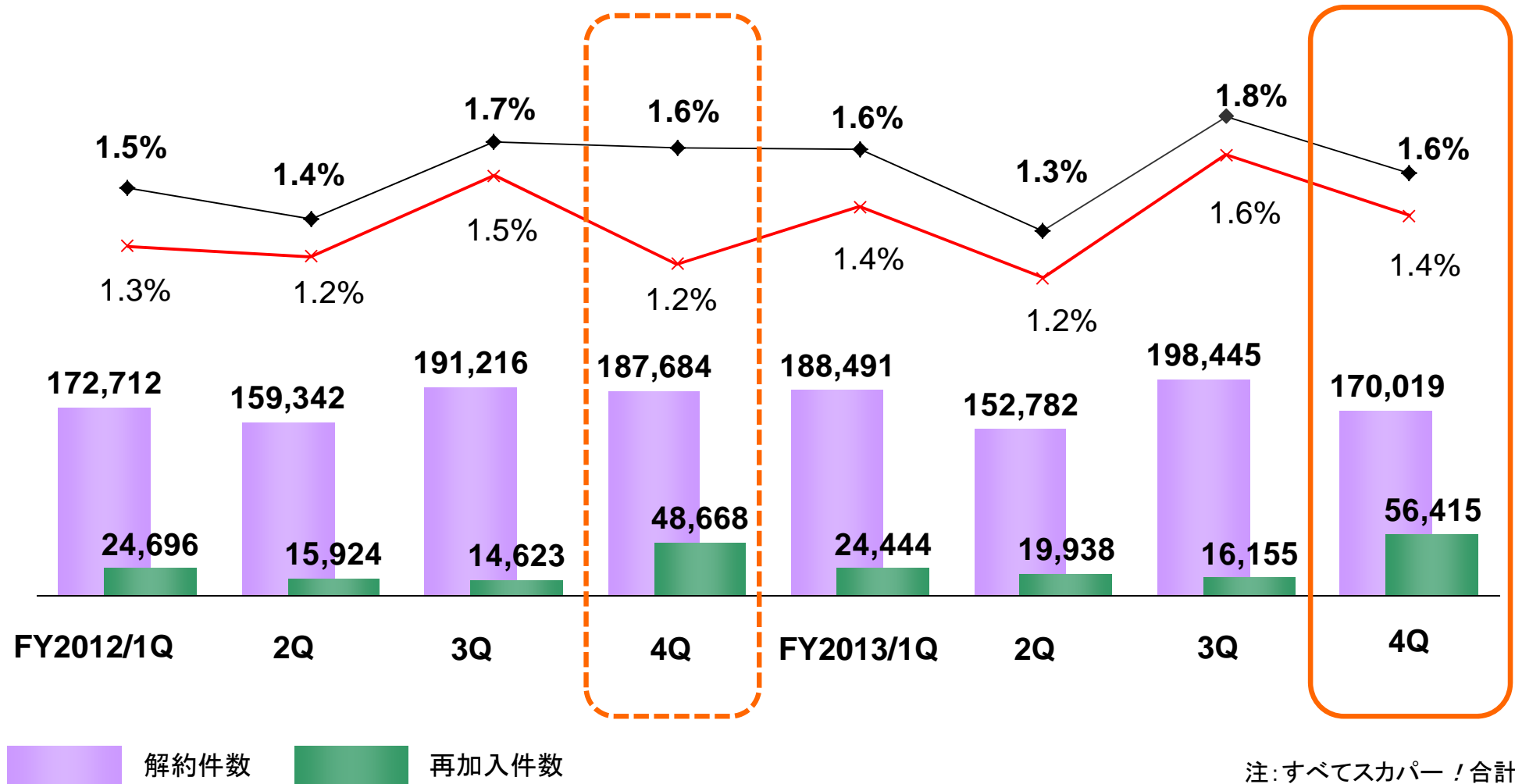
(単位:千件)



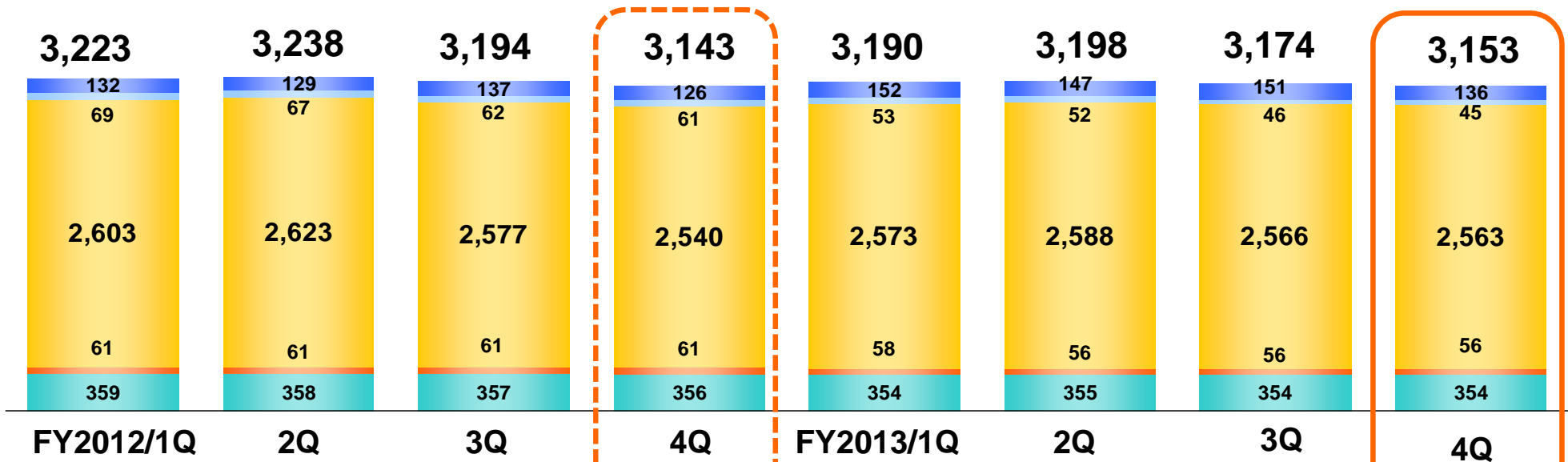
* プレミアムサービスには、標準画質専用チューナーの加入者も含まれる。

解約率の推移

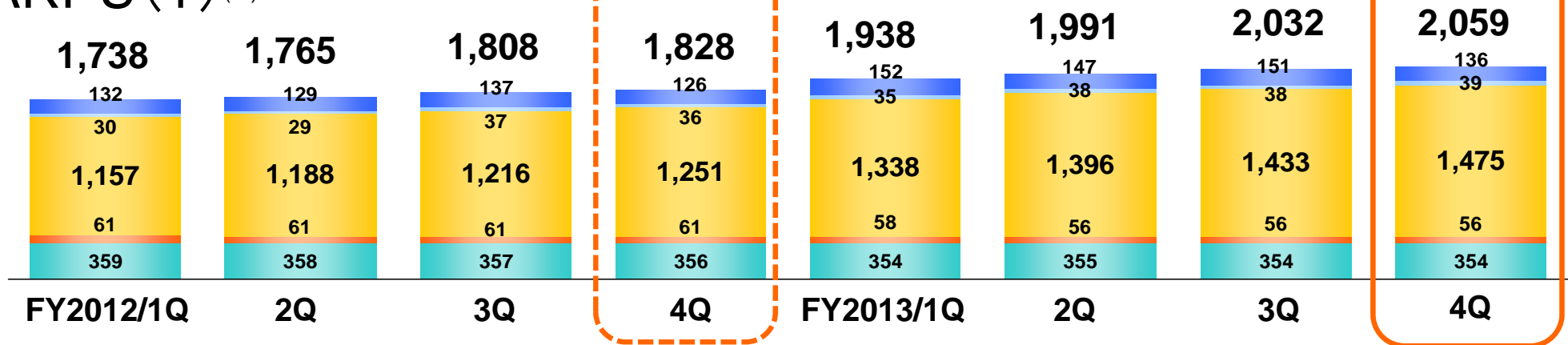
— 平均月次解約率(四半期毎)
 — 再加入件数除後の解約率



■ 加入者支払単価(¥) (*1)



■ ARPU(¥) (*2)



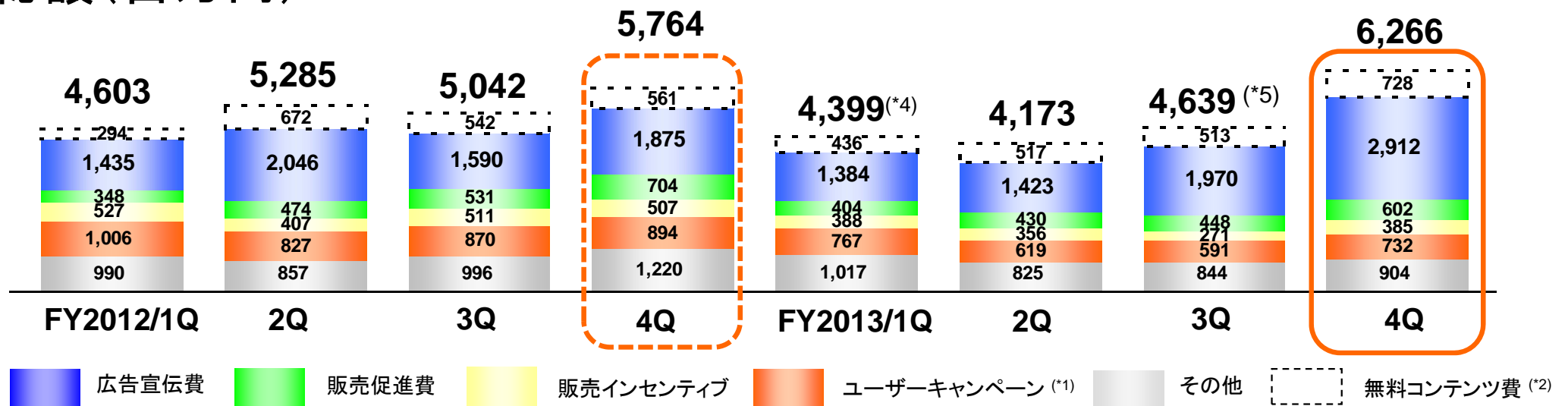
■ 基本料/件
 ■ レンタル会費/件
 ■ フラット視聴料/件
 ■ PPV視聴料/件
 ■ 自主コンテンツ収入/件

*1. 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価

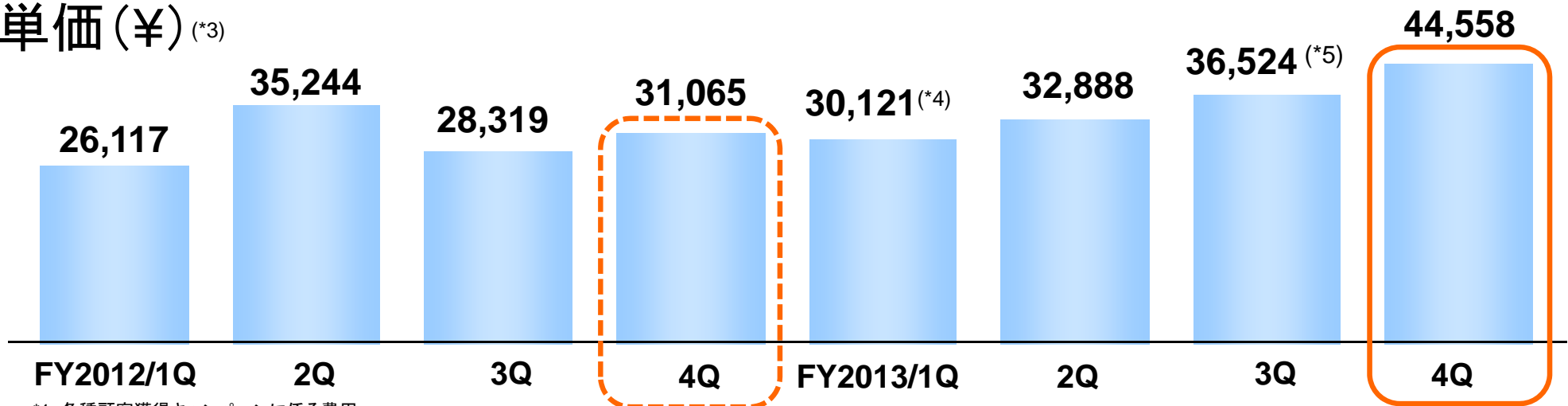
*2. 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価の内、当社グループの営業収益として計上する金額

顧客獲得費用(SAC)

■ 総額(百万円)



■ 単価(¥)^(*3)



*1. 各種顧客獲得キャンペーンに係る費用

*2. 「無料コンテンツ費」は、BSスカパー！の番組制作費等を含む。

*3. SAC単価は、SAC総額(ただし「無料コンテンツ費」は除く)を対象期間の新規加入件数で割った数値

*4. 2013年度第1四半期の広告宣伝費の集計額を修正しております。

*5. 2013年度第3四半期の広告宣伝費、販売促進費、ユーザーキャンペーン、その他の集計額を修正しております。

子会社業績

(単位:百万円)

		SJC	SPCC	SPBC	OPTI	SNET	JII	JMC
事業内容		放送プラットフォーム、衛星通信	顧客管理	放送事業	光ファイバを利用した映像配信	衛星通信回線再販等	衛星通信回線販売	衛星移動通信サービス
保有割合(%)		100	100	100	100	92	100	53.3
営業収益	FY2012/4Q	124,135	9,707	43,605	11,310	6,284	1,829	1,690
	FY2013/4Q	129,218	7,526	58,647	11,273	4,085	2,624	1,895
営業利益	FY2012/4Q	15,037	△250	439	1,106	604	702	234
	FY2013/4Q	20,168	△364	1,044	1,034	353	1,276	165
経常利益	FY2012/4Q	15,974	△234	443	1,067	557	708	241
	FY2013/4Q	21,133	△362	1,052	1,008	332	1,292	184

SJC:スカパーJSAT株式会社

SPCC:株式会社スカパー・カスタマーリレーションズ

SPBC:株式会社スカパー・ブロードキャスティング

OPTI:株式会社オプティキャスト

SNET:株式会社衛星ネットワーク

JII:JSAT International Inc.

JMC:JSAT MOBILE Communications株式会社

本資料に関するお問い合わせは、下記担当部までお願い致します。

株式会社スカパーJSATホールディングス
広報・IR部

TEL: 03-5571-1515

FAX: 03-5571-1760

E-Mail: ir@skyperfectjsat.co.jp